

みどり市市制
施行20周年
記念



第113回企画展

となりの 恐竜展

— じっくりみる恐竜のかたち —



令和8年 7月18日(土) ▶ 9月27日(日)



みどり市大間々博物館
(コノドント館)

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL.(0277)73-4123 / FAX.(0277)73-4145
<https://www.city.midori.gunma.jp/conodont>

協力:群馬県立自然史博物館

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 ● 月曜日(休日の場合は翌平日が休館)
入館料 ● 一般 200円 / 小・中学生 50円 / 幼児 無料
(20名以上は団体割引あり)

※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※みどり市内の小・中学生は「4館フリーパスポート」の提示で無料

交通案内 ● わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分
上毛電気鉄道赤城駅より徒歩15分
北関東自動車道太田藪塚インターより車で25分

大間々博物館HP



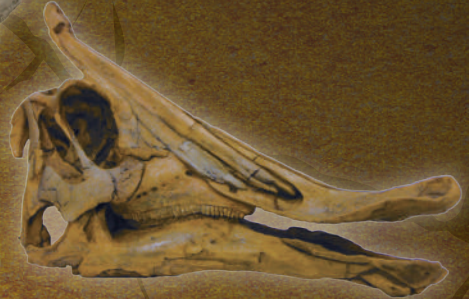
YouTube

となりの恐竜展

— じっくりみる恐竜のかたち —



①タルボサウルス



②サウロロフス



③アリオラムス



⑧竜脚類の歯



⑦プレノケファレ



⑤プロトケラトプス (幼体)



⑥バガケラトプス (幼体)



④ヴェロキラプトル類



⑨ティラノサウルス (1/4 サイズ模型)



⑩パキケファロサウルス

①～⑦、⑩：レプリカ

③、④：個人蔵

⑤～⑨：群馬県立自然史博物館所蔵

恐竜化石の一大産地・モンゴルのゴビ砂漠では、アジア最大級の肉食恐竜タルボサウルスや、植物食恐竜サウロロフス、石頭恐竜のプレノケファレなど多くの種類の恐竜が見つかります。

今年の夏のコノドント館では、ゴビ砂漠で見つかった後期白亜紀の恐竜を中心に、関係の深い北アメリカの恐竜をあわせて紹介します。同じ時代や場所の恐竜たちをじっくり見比べると、さまざまな姿や生き方の違いがみえてきます。白亜紀の同じ空の下、“おとなり同士”で生きた恐竜たちの世界をまるごとのぞいてみましょう。

交通案内



■車 北関東自動車道太田数塚インターから25分

■電車 浅草～赤城……東武特急で1時間50分
上野～桐生……JRで約2時間
桐生～大間々……わたらせ渓谷鐵道で13分
(わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分)

みどり市大間々博物館 (コノドント館)

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL.(0277)73-4123 / FAX.(0277)73-4145
https://www.city.midori.gunma.jp/conodont